

記者資料提供（2023年7月19日）

一般財団法人神戸観光局 観光部 松本・松村

TEL：078-262-1916 FAX：078-230-0808



## 兵庫 DC の開催に合わせ神戸市内のミュージアムでリアル謎解きゲームを開催！ イベントをお得に満喫できる期間限定パスポートの販売も

神戸観光局がパートナーとして参画する「KOBE ミュージアムリンク」では、現在実施中の兵庫デスティネーションキャンペーン開催に合わせ、神戸の文化をより多くの方に知って頂くことを目的に、美術館や博物館を巡るリアル謎解きゲーム『ミュージアムと不思議な扉』を開催します。

また、神戸観光局では、当イベントをお得に楽しんでいただくとともに、街の回遊性向上を図ることを目的として、購入から60日間施設入場等で使用できる電子チケット『KOBE ミュージアムパスポート』を枚数限定で WEB 販売いたします。

### 1. リアル謎解きゲーム『ミュージアムと不思議な扉』について

『ミュージアムと不思議な扉』は、KOBE ミュージアムリンクの施設をめぐり、神戸の文化を体感しながら謎を解く、体験型のイベントです。

開催期間：2023年7月22日（土曜）～10月31日（火曜）

（営業時間や休館日は施設により異なります）

参加方法：参加各館及び市内観光案内所で無料配布している台紙を持って対象施設へ行き、用意された問題に解答。

正解する毎にクリアスタンプがもらえます。

集めたスタンプ数に応じてオリジナルグッズをプレゼント！

対象施設：KOBE ミュージアムリンク参画の20館

※北野美術館は休館のため除く

URL：<https://kobemuseumlink.com/>

主催：KOBE ミュージアムリンク

制作：クロネコキューブ株式会社

問い合わせ：KOBE ミュージアムリンク事務局

神戸市中央区京町79番地 日本ビルヂング

KOBE とんぼ玉ミュージアム内

TEL：078-393-8500（会期中無休10時～19時）



### 2. KOBE ミュージアムパスポートについて

QRコードを施設の受付で掲示するだけで施設入場等、総額約1万円相当が半額以下で楽しめる購入から60日間使える電子チケット。

『ミュージアムと不思議な扉』で各館を巡るのにもおすすめです。

販売期間：2023年7月22日（土曜）～2024年1月31日（水曜）

販売価格：4,000円（消費税込）

販売枚数：500枚（なくなり次第終了）

※2023年度は実証実験として限定販売

使用期間：購入日から60日間有効（1施設1回のみ利用可）

販売方法：WEB販売のみ

URL：<https://www.feel-kobe.jp/museumpass/>



パスポート対象施設 ※順不同

施設名	通常入館料	備考
神戸市立博物館	300 円	コレクション展示室のみ（特別展は差額の支払いが必要）
KOBE とんぼ玉ミュージアム	400 円	
神戸海洋博物館	900 円	
カワサキワールド		
フェリシモチョコレートミュージアム	1,000 円	
アシックススポーツミュージアム	入館無料	パスポート提示者には 500 円相当のグッズプレゼント
竹中大工道具館	700 円	
スペース 11 ダルビッシュミュージアム	500 円	
兵庫県立美術館	500 円	コレクション展のみ（特別展は差額の支払いが必要）
横尾忠則現代美術館	700 円	
BB プラザ美術館	400 円	
有馬玩具博物館	800 円	
菊正宗酒造記念館	入館無料	試飲を提供（通常料金 500 円）
白鶴酒造資料館	入館無料	試飲を提供（通常料金 500 円）
沢の鶴資料館	入館無料	試飲を提供（通常料金 500 円）
神戸市立小磯記念美術館	200 円	コレクション企画展示のみ（特別展は差額の支払いが必要）
神戸ファッション美術館	1,000 円	
神戸ゆかりの美術館	200 円	企画展のみ（特別展は差額の支払いが必要）
兵庫県立兵庫津ミュージアム	300 円	

（休館中の北野美術館、UCC コーヒー博物館は対象外）

販売者：一般財団法人神戸観光局

問い合わせ：一般財団法人神戸観光局 TEL：078-230-1120

平日（月曜～金曜）9：30～17：30

【参考】「KOBE ミュージアムリンク」とは

「KOBE ミュージアムリンク」は、神戸市内のミュージアムが主体的に連携をして、相互の活性化につとめるとともに、収蔵資料や展覧会活動を通して、神戸市の観光振興、地域活性化をすすめることを目的として、2019 年 4 月に発足しました。設立母体・目的もさまざまなミュージアムが連携した全国でも例を見ない団体です。

現在、参画館は 21 館となり、今後さらに情報交換を通じてネットワークの連携を深め、個館ではできない活動に取り組むことで、より大きな成果が得られる新たな活動を続けていきます。